

2018年12月2日(日)朝10:10
12月第1聖餐共同主日礼拝式説教

主の待降節第1、バザー等
日本アライアンス庄原基督教会

説教題：人の子が来る

聖書：ルカ福音書21章25～28節

＜口語訳＞

新約聖書127頁

ルカ福音書21章25～28節

＜新共同訳＞

新約聖書182頁

ルカ福音書21章25～28節

＜新改訳第3版＞

新約聖書161頁

ルカ福音書21章25～28節

＜塚本訳＞

新約聖書816～817頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇新約聖書のルカ福音書は、神の民の救いを神の福音として告げた書です。

◇本日からクリスマス待降節に入ります。

⇒「クリスマス」は、「クライスト・マス」の日本語の表示で、「クライスト」は、「救い主」、「マス」は「お祭り」を意味します。「救い主祭」です。

⇒「待降節」は、「キリストの誕生」を待ち望むという意味のことで、教会暦には、「救い主イエス・キリスト様の地上生涯」を記念することとともに、「1年の終わりと始め」の意味が含まれています。そして、同時に、救い主の再臨を待望することも加えられ、地上の終わりと新天新地での新しい生活の始まりを意味します。

⇒キリスト教が、国教と認められた西欧では、太陽暦の暦とともに、教会暦も大事にされ、「待降節」で終わり、「待降節・降誕節」で始まるのです。「降誕節」は、「主の復活節」の前の主日まで続くのです。「降誕節」は長く、「主の地上生涯」と重なっています。「降誕節」、「復活節」、「聖霊降臨節」を大事にします。

本論；

◇本日、ルカ福音書2章25～28節から主の使信に思い・心をとめます。

◆ルカ福音書21章25～26節；ルカは、主の再臨の前の前兆を主の使徒たちの証言により記録しています。

◇21:20～28；塚本訳◆来臨

「25 すると日と月と星とに(世の終りの不思議な)前兆があらわれ、地上では『海がどよめき荒れ狂うため、国々の民は』周章てふためき怖じまどい、

26 全世界に臨もうとしていることを思って、恐ろしさのあまり悶え死にする者がある。『もろもろの天体が』震われるからである。

27 するとその時、人々は『人の子(わたし)が』大いなる権力と栄光とをもって、『雲に乗って来るのを』見るであろう。

28 それでこれらのことがおこり始めたら、体を伸ばし、頭をあげなさい。あなた達のあがない(の時)が近づいたのだから。」と、ルカは、「人の子」=神の御子の再臨を詳細に語っています。

◇25～26節；直前20～24節を受けて、「日と月と星とに(世の終りの不思議な)前兆があらわれ」、「地上では『海がどよめき荒れ狂うため、国々の民は』周章てふためき怖じまどい」、「恐ろしさのあまり悶え死にする者があるろう」、「『もろもろの天体が』震われる」と、**主の再臨**の時の**前兆**が詳細に語られています。

⇒「**主の再臨**」の「**前兆**」は、自然界に異変が起こる様子が見えてきますが、「**恐怖感**」をおおることを殊更に強調する必要はありません。

⇒なぜ「**主の弟子たち、殊にパウロ**」が、ルカに語ったようですが、「**神への畏敬**」を忘れないで、「**主の再臨**」を待つてほしという願いがあると思われます。

◇22～28節；「人々は『**人の子(わたし)が**』大いなる権力と栄光とをもって、『**雲に乗って来るのを**』見る」、「これらのことがおこり始めたら、**体を伸ばし、頭をあげなさい**」、「**あなた達のあがない(の時)が近づいたのだから**」と、「**人の子**」の再臨を。

⇒「**人の子・主イエス様**」は、「**大いなる権力と栄光**」をもって、「**雲に乗って来る**」と、ルカは、使徒からの使信を書いています。

⇒「**雲に乗って来る**」は、主の弟子たちが、使徒1:9「**イエスはこう言って、彼らの見ている前で(天に)上げられ、雲が彼を迎えて見えなくなった**」の実際の状況と1:11「**あなた達の所から天にあげられたあのイエスは、(いま)天にのぼって行かれるのを見たと同じようにして、(また下って)来られるであろう**」の白い衣を着た人の予告を聴き、見たことを思い出させます。

⇒「**雲に乗って来る**」主の再臨の姿が、「**大いなる権力と栄光**」をお示しになることです。

⇒「**雲に乗って来る**」ことは、人間には、自然のことではではありません。「**神の子イエス様**」が、ガリラヤ湖上を歩いて、弟子たちの所に近づいて下さったことがありましたが、ペテロは、主を見ている時は歩けたが、荒れた湖を見て、恐れたら沈みはじめました。「**神の子イエス様**」が、「**神**」と等しいお方だからできたのですし、ペテロは、無力な人間です。

結論；

◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。

◇新約聖書の**ルカ福音書**は、**神の民の救い**を**神の福音**として告げた書です。

⇒「**待降節**」は、「**キリストの誕生**」を待ち望むという意味のことで、教会暦には、「**救い主イエス・キリスト様の地上生涯**」を記念することとともに、「1年の終わりと始め」の意味が含まれています。そして、同時に、救い主の再臨を待望することも加えられ、地上の終わり
と新天新地での新しい生活の始まりを意味します。

◇今日の聖書箇所、**ルカ福音書21:25~28**では、「**人の子・神の子主イエス様**」の再臨の予告でした。

⇒「**待降節**」は、「**主の再臨**」を待望することも、含まれていました。

⇒今年の「**クリスマス**」、「**降誕節**」は、「**主の再臨**」を覚えて、過ごさせていただきましょう。

⇒「**人の子**」は、「**救い主**」を意味するのです。「**主の再臨**」も、「**天の御国への救い**」のためです。これを喜びましょう。